

| | | | | |
|---|---|------|-----|--|
| ふりがな 氏名 | たなか あかね 田中 朱音 | 都道府県 | 岡山県 |  |
| 所属/肩書 | <ul style="list-style-type: none"> 岡山大学 グローバルディスカバリープログラム 特定非営利活動法人 co2sos | | | |
| 関心・活動のSDGs |    | | | |
| 私のESD活動 | 地球温暖化問題の解決のために世界中の人々が協同する持続可能な社会の実現を目指した活動をしています | | | |
| 活動の概要 | | | | |
| <p>co2sos は各地域の CO₂濃度を測定しその測定値の公開及び小中学生への教育をしています。CO₂濃度は従来の測定地点があまり人間活動の影響を受けない地点であるのに対し、人々の生活圏を測定地点としているので人為活動および自然界の影響の CO₂濃度への寄与が見て取れます。このような変化を実感することで人々が環境保全に対する意識を高めることを期待しています。CO₂測定装置は国内外に15か所設置しています。それらのデータは仮想3D空間セカンドライフおよび co2sos のウェブサイトで開催されており誰でも閲覧できます。私はそのうちの国外の設置に深くかかりました。設置場所はパラオ共和国のパラオパシフィックリゾートです。今年の2月末に私は同じく co2sos の関係者である同大学の先輩と共に現地を訪れました。設置自体の話は既に進んでおり、私たちの訪問の目的は CO₂測定値を活用したホテル宿泊者向け環境学習プログラムを提案することでした。この環境学習の目的は、ホテルの宿泊者にパラオの観光資源の1つであるサンゴ礁も光合成をしているということを知り、地球温暖化防止の上でもその保全が重要であることを CO₂の変化から理解していただくことです。このようにして環境保全に興味を持ち、帰国後環境に配慮した生活を送っていただくこと期待しています。また、この成果を岡山 ESD 推進協議会主催の会にて地域の人々に情報提供しました。</p> | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 特定非営利活動法人 co2sos HP http://co2sos.net/ 「おかやま ESD なび」内掲載記事 http://www.okayama-tbox.jp/esd/pages/9784 | | | | |
| 私が考える教育の未来像 | | | | |
| <p>私はこれからの教育の未来像として、学校の中だけで完結してしまうのではなく地域の問題に取り組んでいくようになっていくことを期待しています。例えば農業の担い手不足や、過疎対策、水質保全等です。実際にある問題を取り上げることで、課題発見力及び解決力が養えると思います。また、そのような授業のプロセスの中で、地域の人と関わる機会が増えたり、同級生と話す機会、発表する機会が増えたりすることで、実践的な力が身につく達成感も得ることができます。自分のことだけを考えるのではなく、自分が今生活している周囲の問題を自分の問題として捉え取り組んでいくというのがこれからの将来必要になってくるのではないかと考えます。</p> | | | | |
| 私の強み、活かせる経験やスキル | | | | |
| <p>co2sos での活動と林業のインターンシップでの活動の経験が活かせると思います。co2sos では実際にパラオに行き現地の人やホテルのスタッフと話すことでパラオの自然保護に対する意識や取り組みについて学びました。パラオは日本とは場所も伝統も違う国ですが、その姿勢は学ぶものが多くありました。また林業のインターンシップは岡山大学の授業の一つで、昨年の夏に参加しました。カナダの大学生とともに林業を行う企業や行政で長期間仕事をし、現場の声を聴き、人と自然と産業の関係について深く考えるいい機会になりました。日本における無視できない現状を見ることができました。これらのことを参加者と共有できればと思います。</p> | | | | |